

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和6年 2月 5日

公表: 令和6年 3月 1日

事業所名 ぴよランド

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・活動に必要な物は必要な時に出すようにし、スペースを有効活用している。	・引き続き環境整備に努め、安全にサービスが提供できるよう環境を整えていく。
	2	職員の配置数は適切である	○		・基準よりも多く有資格者を配置している。	・専門的な資格を取得したり、研修等で職員の質の向上を図っていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		・玄関内に入るまでスロープにしたり、トイレ内も手すりをつけている。	・誰もが安全かつ空間が広く使えるようにしていく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・業務分担表を作成、周知、実行し部署内会議にて振り返りを行い業務改善に努めている。	・引き続き、業務効率化に努める。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・意見箱の設置など意見や意向を伝えやすいようにしている。	・保護者の方が意見を書きやすい関係作りを目指していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・毎年実施している。	・保護者向け評価表の意見を真摯に受け止め改善に繋げていく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	他部署との情報共有や相談の機会を設けている。	・他部署、違う視点からアドバイスをもらい業務改善に繋げていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・研修報告書にて全職員に学んだことを伝達し共有できるようにしている。	・携帯からでも気軽に講座が見れるようになり、研修の機会が増えたので質の向上に努める。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		・半年に1度モニタリングとアセスメントを行い、適切な支援計画を作成している。	・将来像をイメージしながら本人にとって何が重要なのかを見極めながら保護者の方とも話し合い作成していく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・保護者の方に負担にならないようなアセスメントツールを使用している。	・職員にとっても保護者にとっても分かりやすく負担にならないようなツール改善に努めていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・立案を立て、活動メニュー等目的を明確にしている。	・チームで意識して支援にあたる。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・季節ならではの行事も取り入れている。	・新しい活動も取り入れていき楽しく参加できるように努めていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		・ボードに一日の流れを文字、絵カード等を使用してわかりやすくしている。	・見通しが持てる様に分かりやすいツールに改善していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		・子どもの特性を把握すると共に、保護者の要望をしっかり聞き計画を立てている。	・成長段階に応じた計画を実践していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・その日の活動予定、職員配置等ボードに書き職員間で共有している。	・打ち合わせを行い、職員一人一人の役割を明確にする。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・支援終了後、職員間で話し合い情報共有している。	・その日の出来事はその日のうちに情報共有できるようにする。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・毎月ケース会議を行い、支援方法等議題に挙げて検討している。	・日々の記録を充実させ、職員間でも話し合い支援検証に繋がるようにしていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		・誕生日月とその半年以内には必ず部署内会議でモニタリングを行っている。	・成長段階に応じて見直しをしていく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		・ガイドラインに沿った活動内容を週案に組み込んでいる。	・遊び、生活訓練、作業訓練等カリキュラムを組み、充実した活動内容にしていく。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・積極的に参加し情報共有に努めている。	・支援担当者が参加できるように職員配置を調整していく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		・情報共有し迅速に対応している。	・引き続き、関係機関と情報共有に努めていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	/	/		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		・担当者会にて情報共有している。	・担当者が参加できるように職員配置を調整していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		・担当者会にて情報共有している。	・担当者が参加できるように職員配置を調整していく。より細かく情報を提供していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・自立支援協議会に参加し事例検討を行うことで助言を受けている。	・基幹相談の研修等に積極的に参加していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		・地域の小学校の児童が施設見学に来た際に事業の紹介を行った。	今後も交流などの機会を作っていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		・参加できるように調整している。	・引き続き、自立支援協議会に参加し今抱えている課題を伝えていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	○		・受け入れ、送り出し時に保護者の方と話をし情報共有をしている。	・引き続き学校での状況、事業所での状況を伝えていく。なかなか会えない保護者の方には電話で状況を伝えるようにしていく。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		・個々の相談に応じて家族支援を行っている。	・保護者向け勉強会に参加してもらえるように魅力ある研修企画を立てていく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時やモニタリング時に詳しく話をする機会を設けている。	・契約時に分かりやすく説明し、変更等があった時にはその都度説明、同意を得ていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・懇談会以外にも保護者の表情をみて声掛けし話し合っている。	・保護者とのコミュニケーションを大事にしている。話しやすい雰囲気を作っていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	保護者主催のマルシェを定期開催している。	・保護者同士の繋がり場の提供を作っていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・情報や当法人で対応可能な事は速やかに伝えている。	・引き続き迅速な対応に努める。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・毎月お便りを発行しており、保護者へ配布している。またInstagramを利用し情報を発信している。	・引き続き活動の様子を発信していく。
	35	個人情報に十分注意している	○		・外部へは匿名を使用して配慮している。	・保護者の同意を得て正しく扱っていく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・特性や状況に応じて伝達方法を変更している。	・特性を十分に理解し、出来る限り配慮していく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		・福祉センターや町内の作品展に利用児の作品を出展させて頂き交流を図っている。	・今後も地域との交流の機会を増えるようにしていく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	・様々な場面を想定して訓練を実施している。	・事業所のパンフレットに載せるなど保護者へ周知してもらおう。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	・防犯、防災訓練等消防団による応急救護訓練なども定期的実施している。	・職員一人一人が役割、手順を把握し冷静に行動し、連携が上手く摂れるように訓練を重ねていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	・虐待防止委員会を設置している。	・定期的に話し合い、共通理解に繋げている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	・毎月会議内にて検討し、支援計画への記載、保護者に説明等を行っている。	・事案がある時には適切に対応していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	保護者との情報共有を行っている。	・該当児がいる時にはしっかり把握し、提供するものに配慮していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	・毎月の会議で振り返りを行い、共有し対策をしている。	・引き続き会議で振り返りを行い、共有していく。